

# DMXコンビネーション施工工程 (DTX・MPS・XD)



DTX 30ml



今まで取れなかったガンコな水垢やシリカスケールを徹底的に分解します。

MPS 30ml



塗装表層汚れや雨シミを分解し、同時にシリガラスコーティング形成まで行える画期的アイテムです。

XD 30ml



手触りや水弾きUP・熱還元による性能回復があるオーバーコート剤です。

スponジ



塗り込みに最適な弾力性、汚れを吸い上げる気泡構造で効果を最大限引き出すスponジです。

マイクロファイバークロス



吸水性と速乾性があります。乾いたままで吸水性が悪いので、水で濡らし、固絞りして使用します。

製品	数量
MPS	1
DTX	1
XD	1
スponジ	2
クロス	2



車両に大量の水をかけ、ホコリや砂埃を落します。



スponジ(1個目)を濡らし、DTXを5ブッシュしてボディを洗浄します。ボディ全体が疎水状態になるように洗ってください。疎水状態が、汚れの剥離完了の目安です。



ボディの洗浄が終わったら、2で使用したスponジとDTXを使い、ホイールを洗浄します。



水でDTXをしっかり洗い流します。撥水している箇所がないかチェックしながら流していきましょう。



スponジ(2個目)を水で濡らしてから軽く絞り、MPSをスponジの中心に10cm程つけ、ボディに塗布していきます。  
※汚れが取れない場合は、少し圧をかけて施工する。



クロス(1枚目)を水で濡らしてから固く絞ります。クロスにXDを5ブッシュ程噴霧し、ボディに塗布していきます。



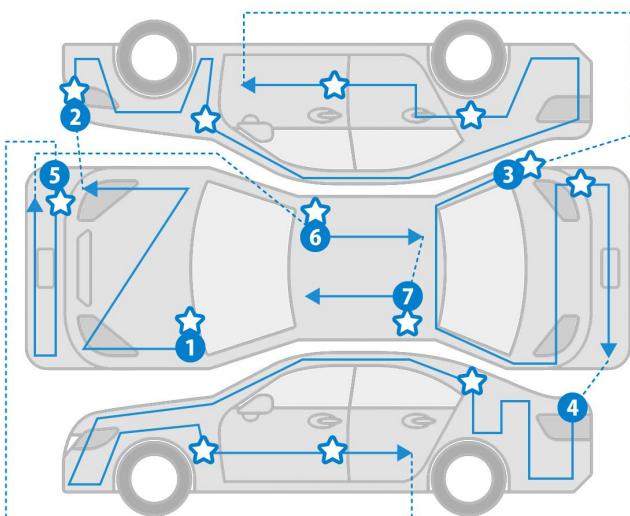
XDの余剰分を落とすため、車両に水をかけます。この時、高圧洗浄機またはホースの水流が最強状態で水をかけて下さい。水圧を与えることで、排水性が強くなります。



クロス(2枚目)を水で濡らしてから固く絞り、仕上げの拭き上げをします。クロスはまめに絞って作業を行い、水滴がなるべく残らないように拭き上げてください。



8で使用したクロスを使い、インナーの拭き上げを行います。同じクロスの裏面で、ホイールの拭き上げも行ってください。



## 液剤塗布の順番と液剤補充位置

数字(1~7)・・・液剤を塗布する順番  
★マーク・・・液剤を補充する位置  
実線・・・・液剤塗布の流れ  
点線・・・・移動導線

※液剤ののりが悪い場合は、補充位置に限らず液剤を補充してください。

## 注意事項

●用途以外に使用しない●作業時は状況に応じてマスク、保護手袋、保護眼鏡を着用する●使用前に必ず目立たない箇所で試し、確認してから使用する●作業中は換気注意する●本製品を塗布したまま放置しない●対象箇所が熱い時は冷水などで十分に冷やす●風の強い時や、砂埃の多い所ではキズの原因になるので使用しない●衣服にかかった場合、染みになる恐れがあるので洗濯する

## スマホで見るマニュアル

